



JCLIFE

2022年
11月号

JCI 一般社団法人尾道青年会議所 <http://www.ojc.or.jp/> 〒722-0035 尾道市土堂2-10-3 尾道商工会議所ビル3F
TEL:0848-20-1110 FAX:0848-20-1112 E-mail:ojc@urban.ne.jp Facebook:<http://www.facebook.com/isojcnw>

65周年記念事業

10月22日(土)尾道青年会議所65周年記念事業「星に願いを〜おのみち水道願い星〜」を開催いたしました。

当日はお昼から夜まで、尾道にゆかりのある人達の様々なステージや、飲食ブース、無料のゲームコーナーで、賑わいのある素晴らしい時間が流れていました。

共創まちづくり委員会「教外別伝」も同日開催され、一宮神社御神輿や尾道ベッチャー太鼓など、2事業が合わさり、尾道に大きな賑わいと活気を創り上げることが出来ました。

最後には尾道水道に願い星が走り、集まった約8000の皆様の願いを乗せて、空高く舞い上がりました。

願い星が消えれば、夜が明け、朝がやってきます。

暗いニュースが続く昨今ですが、尾道の明るい未来は、きっとすぐそこに。

尾道青年会議所は、これからも尾道のまちを盛り上げていくために活動してまいります!

これからも、70年、80年、100年と、まちの皆様と共に歩んでいければと思っています。

今後とも、ご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願いいたします。
(記事：65周年実行特別委員会 副実行委員長 加藤 雅崇)



共創まちづくり事業

共創まちづくり委員会の平岡です。

当委員会は10月22日に行われました65周年記念事業と同日開催として本事業を行いました。午前の部は御調の市天神社さんより子供神輿をお借りして、JCのOBの先輩のお子様や現役メンバーのお子様で担ぎ、商店街を練り歩きました。午後からも過去10年に渡って祭り委員会に携わられましたOBの先輩方にお越し頂き、一宮神社さんより御神輿を出して頂き、こちらも商店街を練り歩きました。一宮神社さんにおかれましては、ベッチャー祭りの2週間前という時期にも関わらず、我々の本事業に華を添えて頂きました。ここ数年、コロナ禍による影響で祭りが開催されませんが、祭りを経験して



いない若手メンバー達に一宮神社さん、OBの先輩方より教えを頂き、尾道の伝統文化を継承していくことの

一助となったように感じています。当委員会はこの本事業を以て所管業務を終えました。一年間、沢山の方々のお支えがあり、委員会メンバーの皆様にも助けて頂き、感謝しか御座いません。私のJC生活は残すところあと2年となりましたが、少しでも恩返しができるよう、引き続き邁進して参ります。

(記事：共創まちづくり委員会委員長 平岡良之)



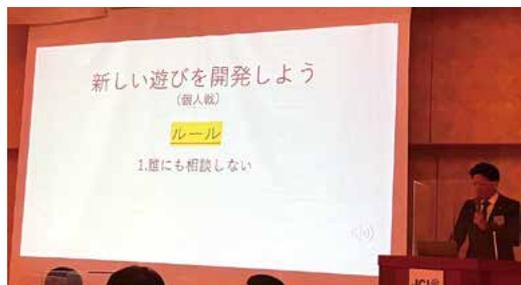
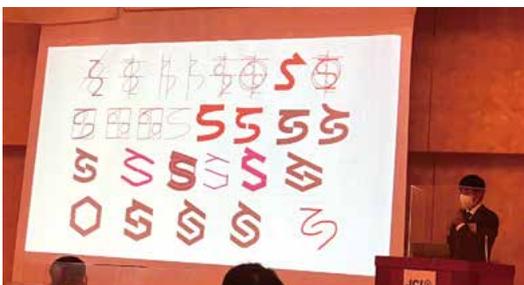
10月例会

私たち青少年育成委員会は10月17日に10月例会を開催致しました。

テーマを「子供の目線から見えるもの」と題し、常識の枠に囚われない子供ならではのクリエイティブな発想や、多角的な視点について皆様に学んでいただく機会とさせて頂きました。

綿棒を使用して新しい遊びを考えていただくワークショップでは、綿棒は耳を掃除するものであるという固定観念を取り払い、全く未知のものであるという前提で遊びを考えていただきました。一人で考えていただいた際には遊びを開発するのは難しいように見えたのですが、グループで考えていただいた際にはどのグループも画期的な遊びを思いつき、私たちの想定を大きく超えた盛り上がりとなりました。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

(記事：青少年育成委員会 中司昌克)



仕事は外資系生命保険会社に勤務しており、現在は単身赴任で米子市に住んでいます。そのため、事業や例会等になかなか出席出来ず、「迷惑をお掛けしております」。

これまで事業をされた皆さん、本当にお疲れ様でした。

お役に立てず申し訳ありませんでした。両親はどちらも会社員でしたので、経営者の子どもでもなければ、今も会社員という立場です。ここでいられる多くの方とは、背負っている責任が大きく違うかもしれません、そんな私でもあたたかく迎え入れていただいたのが尾道青年会議所でした。

私が青年会議所活動で学んだことを感謝をキーワードにお話しします。

感謝なくしてここまでJ.C.活動をする事は出来ませんでした。理事だろうとフロアメンバーだろうと、感謝を言葉と態度で示せない、活動してても自己中心的な考えになってしまいます。それだけの年度で感謝すべき仲間がたくさんいらっしかったです。

新入会員の時、何も分からず委員会や例会に参加していましたが、当時の中司委員長、島田元太副委員長は、参加してくれてありがとう、と毎回声を掛けてくださり、「二つ丁寧に教えてくださいます」。

2日目になると少しだけ慣れてきて、当時の日暮委員長はどんな時も笑顔で話しかけてくださり、2年目の私にも意見を求めていただいたり、吉原敏兼副委員長は事業を構築する上で、さまざまな視点で意見やアドバイスをされたりと、委員会運営の大変さと事業が成功した時の喜びを教えてくださいました。

3年目は、当時の歌副実行委員長、岡本正也副実行委員長の下、ブロックゴルフ事業に携わる事が出来ました。

ブロックゴルフの懇親会では、司会を任せていただきましたが、詳細な司会原稿や当日の副実行委員長お二人からの指示出しのおかげで、なんとか事故なく終えられた記憶が残っています。

他LOMも大勢参加する中で、あの時は副実行委員長お二人に頼りつきりでした。また、その年は初めてブロック出向を経験しましたが、LOMとは違った緊張感と、ブロックが何をしているのかを知ることができ、その経験はブロック委員長をさせていただいた時にめちゃくちゃ役に立ちました。

特に感謝することの大切さを実感したのが、委員長をさせていただいた時です。

あの時は、メンバーが委員会で来てくれるだけでめっちゃ嬉しかったですし、委員長としてやりたいことを伝えると、どうやったら成功する

か自分事のように考えてくれるメンバーの方ばかりでした。

9月公開例会では、当初から丸山ゴンザレスさんをお呼びしたいと思って事業準備を進めてきましたが、何日もかけてチラシやポスターを配ったり、仕事の合間を縫ってチケット販売の声をかけたり、仕舞い、委員会メンバーだけでなくメンバー全員の力無くては絶対に成功しませんでした。

卒業例会では、音対しや画面切り替え、照明のタイミング、音楽の音量など、細かいところまで何度もリハーサルを行いました。誰一人文句を言わず、最高の卒業例会を作り上げてくれました。

また、その当時の委員長、翌年同じ副委員長として活動した岡田健吾先輩には、感謝してもし切れないくらい助けていただきました。

関わった全ての方にこの場で感謝を述べることは出来ませんが、振り返ってみると、そこには必ず誰かの助けがありました。

去年と今年は少し離れたところからJ.C.活動に参加させていただいていますが、今の尾道J.C.にはストーリーに感謝を伝えながら会を盛り上げていく、という当たり前の部分が薄い気がします。

理事の皆さんは、心から会を支えてくれるメンバーへ感謝を表現してください。自分自身の成長を支えてくれている理事、特に委員長、副委員長へ感謝を伝えてあげてください。

そうすることで、全員が自分自身の行動をしつかり振り返り、素晴らしい尾道青年会議所が続いていくと感じます。

今年度残りわずかですが、ベストフィニッシュで、次年度へベストスタートを切る事が出来るよう、陰ながら応援しております。

ご清聴ありがとうございます。



今岡 正英

卒業生スピッチの大取を務めさせていただきます。まずは卒業生スピッチの前に本年度理事長としてなっています。皆さんの感謝の言葉を言いたいと思います。まだ終わってないんですけれど、これまで予定者入れると1年2ヶ月理事長をさせていただきます。

本場に皆さんに助けていただいたなと思います。理事長という立場はほとんど挨拶で、皆さんの活動無くして青年会議所は成り立たないです。私は代表として挨拶をしているだけなので本場に皆さんに感謝しかかざりません。1年間で皆さんにごさいます。また12月に改めて皆さんにお伝えをしたいと思います。

先日の65周年の記念事業それから共創まちづくり事業に関しても、あれだけ多くのお客さんに来ていただきました。メンバーほとんどの方にきていただきました。全体事業としてできたことを嬉しく思いますし、今後また青年会議所の存在意義というものを生かしていただきたいなと思います。

ここからは卒業生スピッチということで、理事長となるのはすっきりした話ではないといけません。とあるのが、理事長というジャケットを脱いで話をさせていただきます。話す内容はなんてバカなことしてんだとか大丈夫かと思うかもしれないんですけど、そこは卒業生ということ温かく見守って聞いていただければと思います。

私が入会したのが2011年です。社会人5年間を経て帰ってきました。帰ってきたすぐ青年会議所の重鎮の方々に来ていただきました。私が会社に戻ったその月で、さすがに早いということ。1年待たず帰ってこれたので翌年入会をしました。そこから青年会議所の活動が始まったんですけど、J.C.が何やってるのかを初めて知ったのがデイズニーパーレドでした。この時、本場に度肝を抜かれまして、青年会議所ってこんな事業ができるんだって思いました。仮入会5年の時にデイズニーパーレドをして、その翌年55周年の記念事業としてパレードやっただけですけど、こんな事業をできる団体はすごいなという風に思ったのが、第一印象でした。それから11年間経験させていただく中で色々あるんですけど、自分の中で気持ちが変わっていったのかって言うところを中心にエピソードを交えてお伝えしようと思います。

55周年実行特別委員会に関しては、デイズニーパーレドのことです。すごいなと思ったこと、委員会メンバーが非常に面白い方々で、必ず何か事業やる前は福山のヨッサンラーメンに行つて集結会をして事業に臨んでいました。困結できるいい機会を作つていただいたんだなと思います。この年は本場によく飲んで、よく笑って、本気で事業した年だったなと思います。

その翌年は拡大研修委員会で美ノ上さんが委員長、この年のことが実は非常に覚えていて、この11年、思い返した時に1番出てくるのがこの年だ。という風に思っています。この年は拡大のことよりも他のことが非常に記憶に残つた。委員会旅行でタイとシンガポールに行つたんです。耕平君と大西君が幹事で設営してくれてタイとシンガポールに行きました。この時の記憶が私個人的なことで言うと、ずっとマッサージュに行つたことですね。マッサージュにここでハマりました。ご飯食べた後、観光した後、ずっとマッサージュに行つてました。何してんだって話なんですけれどね。

他にも色々思い出があつて、この年は西本先輩が卒業生でいらっしかったです。非常によく飲まれて、卒業生で、それは非常にいいことだと思つて、飲んで、被害を受けた方も多数いらつちやうと思つています。私もその中の1人で西本先輩と目があつた。ただ、場が楽しいメンバーもすごいよくしてくれてるので、楽しいが勝つてよく出席してました。度々イッキをさせられるので必ず吐くんです。なので必ず飲みに行く時はトイレの場所を確認して、もう飲んだら吐くというシステムを作り上げてました。ノーマンで吐けるようになったので、そのおかげもあつて毎回飲まされて吐きに行つてました。ついた名がトイレの神様。ありがたいことに神様の称号をいただくことになりました。インパクトのある委員会がよく飲んだ記憶があります。

吉和漁港に行つてイカを釣るって行つて、結局釣れずに、棧橋で相撲を取つて海に落とされたとか。それだけなからまだしもイカのルーアがあるじゃないですか。それを落ちた僕に投げられるんです。ひどい先輩ですよ。誰のことか言わないんですけど、そういう先輩もいたりして、本場にやんちゃな委員会だったという記憶があります。

この調子でいくと時間がオーバーしそうですね。その他記憶に残つてることを言うんですけど、あとはセクレタリーの時ですね。セクレタリーは私と中司君と大西君の3名でした。本多理事長、池田誠専務、池田憲泰専務局長と徳永渉外局長がいらつちやうな年、この年はいろんなところに連れられてつらかったです。何が一番記憶に残つてるかと思えば、2番は大西君の記憶。ライズプロボーズ大作戦ですね。あんまり詳しく言うともやめてくれたらいいんですけど、本場に1つこの事業みたいになりましたね。

事務局って事業ないんですけどメイン事業のように設営しまして、シネマ尾道を貸し切つてスポットライトを国際ホテルに取りに行つて、エキストラも呼んで映像も作りました。普通映画っていうとオープニングに告知があると思うんですけど、3つぐらい告知を流した後に柔らかな感じの映像を出してその中に大西君と奥さんの写真を入れた映像を入れて、最後映像のタイトル「あなたに会いたくて」を流して、あれあれで思わせて、そこでパンとスポットライトで当ててサプライズプロボーズをしました。無事に大成功ということで本場に面白かった、面白いて言っちゃいけないんですけど、本場に楽しかったなと思つています。大西君のサプライズプロボーズをやつたのもありますし、この年は中司君の結婚もあつて二次会の司会もさせていただきました。

人の結婚式の二次会はすっかりやっつてるんで、ぜひ私が結婚する際には二次会を中司君と大西君にお願いしたいなと思ってます。いつになるか分かりませんがその時はよろしくお願ひします。

その他はですね、委員長の時は本当に飲みに出たなと思うのと、10名入会していただいたんですけど、そのメンバーが仲良くやってくれてるのが嬉しいなと思ってます。内海さん吉田君、暢玄さんと大二郎君、がまだ現役で残っておりますけども、本当に自分の拡大の時に入っていた方々には楽しんで頂きたいなと思ってます。吉田君と暢玄さんは残り数年ありますけど、ぜひ卒業まで駆け抜けていたいただきたいなと思います。

その他、副委員長やらせてもらったり、専務理事、副理事長、それから理事長までさせていただきました。この11年間を通して感じたところを申し上げますと、いろんな人脈ができたこともありすが、何を学ばしてもらったのかなって考えた時に、やっぱりJCの人ってすごい行動力と決断力があるなって思ってますよ。普段通りの生活をしてたら刺激を受けることは少ないので、JCの方々だから決断力、行動力があるのかなという風に感じました。特に先輩方は本当に決めるのが早いし動くのが早い。その影響をずっと受け続けるが、自分自身もそうやってるようになるし、そうしないといけないなっていう風に見えるようになるんですね。これは仕事でも一緒だと思って、決断しづらいことや行動しづらいことは後回し、いつかやろうと思ったりすることがあると思うんですけど、本当に大事なことは早く決断して早く動くってことは大事な事だと思います。青年会議所のたくさんの方々と触れ合っって話をしてきたことで、そういったところは学ばしてもらったなと感じています。

最後に、私所信にも書いてるんですけど、卒業後に価値が出てくるって書いてるんですけど、本当そう思っって、部活をしたことがある人はわかると思うんですけど、本当に大変でしんどいけれど一緒に活動した仲間っていうのは卒業してもずっと繋がってますし、久しぶりに会ってもその時の気持ちや蘇ったりして一生残る友達になるんですね。青年会議所は大人になっての部活だと思っって、ここで大変な思いをする時期ってあると思うんですけど、必ずやり切った卒業までして、その後の人生に生かしていただきたいなと思います。卒業後に価値が出てくるというところを皆さんに一番私はお伝えしたいなと思います。ここに居る皆さんは来年以降もいろんな役割、そして事業等やっていくと思います。まずは青年会議所の活動を楽しんでいただいて、多くの仲間と切磋琢磨して事業を作り上げていっていただきたいです。必ず辞めずに卒業をしていただきたいと思っます。以上で私からの卒業生スピーチとさせていただきます。本日はありがとうございます。

ベッチャー祭

11月3日(木)にベッチャー祭が、3年ぶりに開催されました。尾道青年会議所からも多くのメンバーが参加しました。



昨年、一昨年と新型コロナウイルスの影響を受け、ベッチャー祭も中止となっていました。が、本年度は感染症対策をしたうえで、ほぼ例年と変わらない形で実施することが出来ました。疫病退散の意味が込められたベッチャー祭。皆の願いが詰まったお神輿は肩の皮が擦り剥ける程に重たかったです。

(記事：未来輝く青少年育成委員会副委員長予定者 沼田剛志)



小林和作を偲ぶ会

11月4日(金)、西國寺にて故小林和作画伯を偲ぶ会が開催され、法要及び小林和作賞授与式並びに三者鼎談に参加いたしました。

小林画伯の墓所にてご焼香をした後、西國寺境内にて、尾道市の美術振興に貢献された方に贈られる小林和作賞の授与と、本年度受賞者中村謙さん、昨年度受賞者山本耕造さん、村上選さんによる三者鼎談を拝聴しました。

御三方が絵を描くに至った経緯や、小林画伯への熱い思いを聞いているうちに、小林画伯の偉大さと絵画の世界の奥深さを無知ながらも感じ取ることができました。

「芸術の秋」に新たな学びを得た1日となりました。

(記事：2023年度セクレタリー予定者 向井豪佑)



『#尾道フォトストーリー2022』開催のお知らせ

『#尾道フォトストーリー2022』が現在開催中です。
「みんなで尾道、バズらせよう!!」を合言葉にInstagramを使った
SNS連動型のフォトコンテストを開催しています。

年齢、性別、国籍を問わず、自分の好きな『尾道の魅力』に自分の想いを載せて
自ら発信して頂くフォトコンテストです。

南から生口島、因島、向島、旧尾道市街地、北は御調まで尾道全域が魅力的な撮影スポットになります!

ぜひそれぞれの地域での思い出や素敵な魅力を自らInstagramを使って発信して下さい!

また他の人が投稿した写真も確認することが可能です。

ぜひ「#おのフォト」で検索してみてください。きっと素敵な尾道の魅力が見つかります。

応募期間 2022年11月23日(水)まで投稿可能です

入賞者には、
最高で3万円の商品券と
豪華副賞が!

詳しくはQRコードを読み取って頂ければ
公式ホームページ、公式Instagramアカウントに
入ることが可能です。

公式HP



公式Instagram



ONOMICHI_PHOTO_STORY2022

みんなで尾道、
バズらせよう!!

#おのフォト

#尾道フォトストーリー2022

尾道の魅力をあなたの思い出(ストーリー)と一緒にInstagramに投稿しよう!

みんなの尾道バズらせよう!

参加は簡単な2ステップでOK!

STEP 1 公式Instagramをフォロー
「#おのフォト」で検索!

STEP 2 選んだ写真を自分のInstagramに投稿
①#おのフォト ②#エントリー部門名
※撮影場所での思い出や
写真のお気に入りポイントをコメント
以上3つをお忘れなく!

入賞者の方へ
商品券最高3万円 送呈
そしてなんと!!
グランプリ作品は、副賞として
しまなみウォーター
2023年春夏シーズン使用ラベルに
採用されます!

過去に撮影した写真も投稿OK!
お一人様、複数部門、複数回投稿OK!
ただし、1回の投稿につき、写真1枚
尾道市以外に在る方でも投稿可能!

応募期間
2022年10月13日(木)~11月23日(水)

エントリー部門

- びゅーている部門 (尾道市内各地の景観や自然・風景 など)
- ぶらう部門 (お気に入りのグルメや尾道ゆかりの土産物 など)
- 尾道ええ部門 (日々の暮らしや季節の行事やイベントの笑顔 など)

※応募いただいた場合は、イベントHPより「結果発表」にて確認下さい。
ハッシュタグ「#おのフォト」をつけてInstagramに投稿された場合には、自動的に削除したものとみなします。

詳細チェック→素敵です。
イベントHPはコチラ!!

JCI 主催：一般社団法人尾道青年会議所 / 後援：尾道市 協賛：丸善製菓株式会社 Wink

編集
後記

おのちもすっかり過ごしやすくなりましたね。結局年初に掲げたダイエットも
ちっともできませんでした。次年度こそはと思いますが村橋委員長が寂しがっているのだよ
ばれたら駆けつけてしまうだろうと今から震えています。年末になり一年があっという
まに過ぎてしまった様な気持ちです。総務広報委員会も残り一か月半やり残しが何も無いよ
うに全力で駆け抜けていきたいと思っておりますので皆様最後までよろしく願います。(記事:福島 侑)

HP



facebook

